

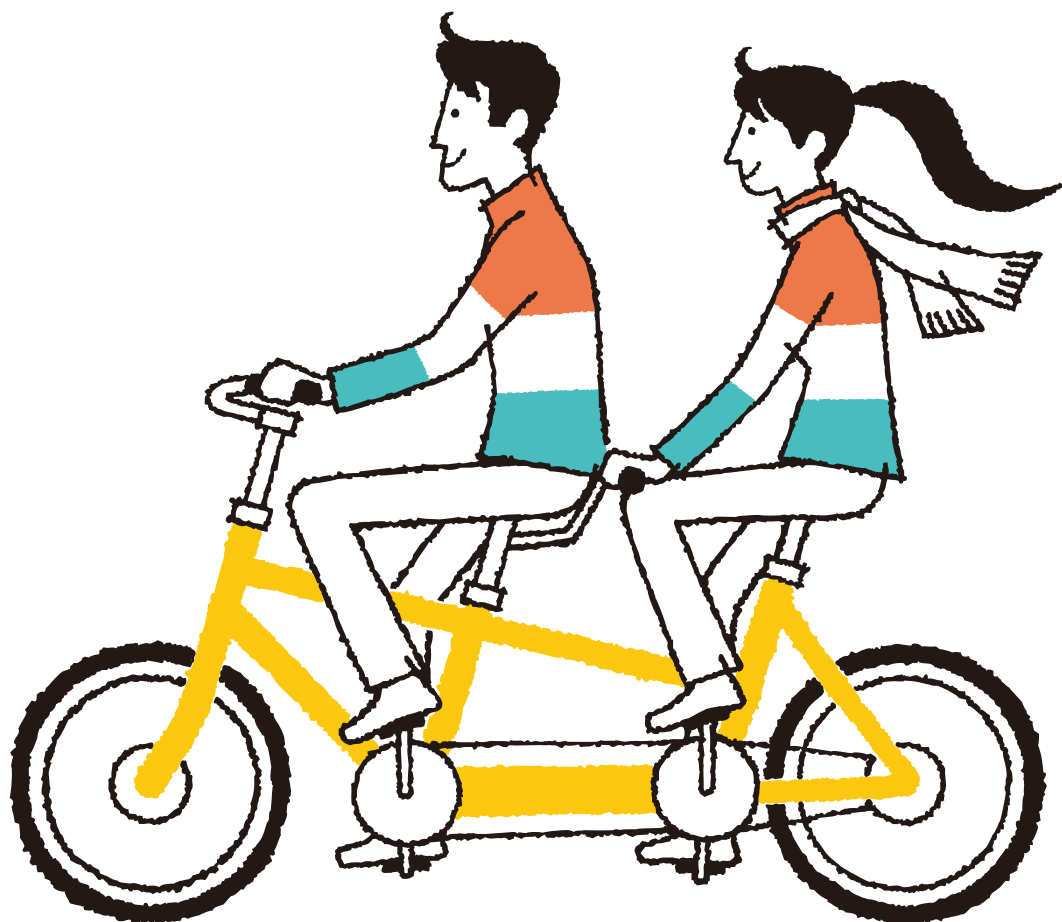
熊 本 県 男 女 共 同 参 画 通 信

# ならんぞ

n a r a n d e

Kumamoto Gender Equality  
Communication Magazine

Vol.36



■特集

**起業で社会貢献**～地産地消エネルギーに魅せられて～

■事業報告

企業トップセミナー「企業の女性の活躍と企業パフォーマンス」

平成26年度熊本県男女共同参画推進事業者表彰

くまもと白熱教室「『働くこと』『仕事すること』を考えてみよう」

女性に対する暴力をなくす運動／女性総合相談 他

自分探しと合意形成のワークショップ～「人生を楽しく笑顔にする技術」



# 起業で社会貢献

く地産地消エネルギーに魅せられてく

日本の成長戦略の重要な鍵とされている「女性の活躍」。農業、工業、サービス業、さまざまに分野で女性たちがもっと才能を発揮できれば、日本は経済的にも精神的にも、より豊かになるはず。今回は、女性の活躍がまだ珍しいエネルギー産業の世界に飛び込み、革新的な取り組みにチャレンジしている星子文さんにお話を伺いました。



自然と未来 株式会社

ほしこあや

代表取締役社長 星子文さん

熊本市出身。会社員を経て、2010年にバイオディーゼル燃料(BDF)の製造販売会社「自然と未来株式会社」を設立する。家庭や事業所から出る廃油を回収し、軽油の代替燃料など3種のエネルギーを精製。再生可能、持続可能なエネルギーとして全国から注目を集めている。2013年に「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」、「くまもと循環型社会賞」を受賞。



起業のキッカケは  
くてんぷら油で走る車くとの出逢い

私は以前、運送会社に勤めていました。そこで偶然にも、てんぷら油を燃料にして走る車と出逢ったことが、今の仕事を志すキッカケになりました。私は食廃油を燃料にして、てんぷらの匂いをさせて走る車を初めて見て感動し、勤務先の社長にバイオディーゼル燃料(BDF=Bio Diesel Fuel)を取り入れることを提案しました。そして、会社内に製造部門をつくってもらったのです。しかし、残念ながら会社は倒産。「このまま世の中の役に立つ技術や製品までもなくしてしまつのはもったいないな」と思つて他の企業でBDFをつくってもらえないか交渉して回りましたが、「儲けがない」「安全性が心配」といった理由で断られてばかり。「誰もやらないなら、私がやるしかない」と決心して2010年に起業しました。



## 「つながり」「諦めの悪さ」が強みに

バイオ燃料事業というのは、産廃業者や建設会社がCSRやコスト削減のため副業的に取り組むことがほとんどで、当社のようにそれを主業としている会社は、全国を見ても他にはありません。しかも、エネルギー産業の業界には女性が少なく、特に女性社長となると大変珍しい。また、起業するまで知らなかったのですが、廃油は流通経路がほぼ決まっています、新規で回収業務を行うこと自体難しいことだったので。時には嫌がらせのようなこともありましたが、でも、そんなときに助けてくださったのが、地域の方々でした。女性は「つながり」をつくり、広げることに長けていて、事業を行ううえでも大きな力になります。会社でお茶会をしたり、いろんな会合に出かけたりして築いてきた地域やたくさんの方との「つながり」が私を助けてくれたのです。

そしてもうひとつ、女性には粘り強い人が多い。私も最初は苦難の連続でしたが、決して諦めず、何ひとつ捨てるものがない循環型エネルギーとしてのBDFの可能性を信じ、協力者を得てきたからこそ今があるのです。ちなみに現在、当社の廃油の回収先は600軒を超えています。そのほとんどがクチコミによるものです。確かな信頼関係が当社の事業を支えてくれます。私は人が大好きなので、いろんな人とのつながることができると今の仕事は、まさに

天職だと感じています。

\*CSR

〔Corporate Social Responsibility〕の略。企業の社会的責任のこと。

## 東京オリンピックへの貢献も視野に

現在、あるプロジェクトの実現に関わっています。それは、東京オリンピックまでに、東京でBDFを生み出すコミュニティをつくることです。オリンピックには、世界中からたくさんの人たちが東京を訪れるので、交通機関の燃料などにBDFを使ってエコなオリンピックを実現できれば素晴らしいアピールになると思いませんか？しかも、東京に住む人々が持ち寄った廃油でBDFをつくり、オリンピックに貢献する。そうすれば、都民とオリンピックの距離が近くなり、さらに盛り上がると思うんです。そのためには、熊本から当社が進出するというのではなく、東京の企業が地域住民とともに取り組んで欲しいと思っています。地域全体で取組み、オリンピックが終わっても継続し拡げることが大切です。そのため、技術提供など、協力は惜しみません。

## 誰もが参加できる地産地消エネルギー

捨てるだけの食廃油を新しい燃料につくり変える。BDFは、誰でも参加できるエコ活動です。回収先や販売先をクチコミで広げてくれる人たちは、紹介することで自分たちもエコ活動に貢献できていると感じます。廃油を提供する人は、自分が燃料をつくり出すという喜びを感じます。誰も困らず、みんながエコを実感できる。全国各地に廃油を集めるコミュニティができれば、誰もが地域貢献できるようになる。BDFには、そんな可能性や役割があるのです。

また、当社では地元農家への販売価格をできるだけ抑えることで、熊本の農業を応援する取組みも行っています。品質、価格ともに安定しているBDFは、きつと農業経営の心強い味方になってくれると確信しています。まさに「地産地消エネルギー」であるBDFを、これからの時代に必要なクリーンエネルギーとして、今後も広く伝えていきたいと思っています。



2013年12月  
地球温暖化防止活動環境大臣表彰

# 企業の女性の活躍と企業。パフォーマンス

主催・熊本県経営者協会／熊本県

女性の力を最大限発揮できる社会づくりが急務となる中、県内の産学官が連携して女性の活躍推進に取り組む「熊本県女性の社会参画加速化会議」が昨年8月に発足しました。その取り組みの一環として10月30日に開催したセミナーに、経営者や人事管理担当者など約100人が参加しました。



講師  
**樋口 美雄**さん(慶應義塾大学教授)

商学博士。専門の労働経済学、計量経済学のほか、ワーク・ライフ・バランスや女性の活躍に関する著書多数。厚生労働省労働政策審議会会長。

労働環境の問題に取り組む樋口教授は、各種統計データを示しつつ、女性の就業者や非正規雇用が増加している現状及び長時間労働が改善されないこと等の課題を指摘。また、政府の「まち・ひと・しごと創生会議」にも参加する立場から、「女性の活躍」と「地方創生」は無縁でなく、女性が地方に留まりたいくなる魅力的な仕事や労働環境をつくるのが地方活性化につながると思います。そのためにも「ワーク・ライフ・バランス」が大切。どうしたらもっと女性が活躍できるのか、従来の男性の働き方に合わせて考えるのではなく、「多様な価値観を想定すべき」。さらに行政や経済団体、大学、金融機関、NPOなど様々な主体が情報を交換し連携できる「プラットフォーム」の重要性に触れ、「まさに『熊本県女性の社会参画加速化会議』は女性の活躍を応援するプラットフォーム。このネットワークを活かして女性が輝く社会をつくるのが、企業と働く人、地域にとっても大事なことです」というメッセージで締めくくられました。

## 平成26年度熊本県男女共同参画推進事業者表彰 男女がともに自立し、 支えあう社会の実現のために

熊本県では、ワーク・ライフ・バランスの推進や女性の登用など、男女がともに働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる企業等を毎年表彰しています。今年度は11月20日に表彰式を行い、6事業者に対して蒲島知事から表彰状が授与されました。



### イオン九州 株式会社 イオン熊本店 「あなたの意欲と能力次第!」

性別なんて関係ない。給与も昇級も資格で決まる! 個々の意欲と能力、ライフステージに合わせた働き方ができます。退職者のリエンターにも大歓迎!

### 医療法人信岡会 菊池中央病院 「保育料3歳児まで半額支給!」

子育てしながら働く女性を応援します。保育料は3歳児まで半額支給。離職率が低く、勤続年数が高い。全員面接で一人一人の声に耳を傾けます!

### 株式会社 エスケーホーム 「あなたは会社の財産です!」

男性が多い建設業界にあって半数が女性。その女性たちが主戦力として大活躍! 「結婚、出産、介護も仕事も」一人一人が働き続けられる仕組みづくりを惜しみません!

### 医療法人杏和会 城南病院 「保育所設置で復職支援!」

出産をきっかけに退職するのはもったいない! と事業所内保育所を設置。子どもの近くで安心して働けます。ワーク・ライフ・バランスの取組みも充実。

### 社会福祉法人岳寿会 梅香苑・ひめゆり 「放課後、土日も預かります!」

今年度「子育てサポート行動計画」を策定。従業員の子ども(小6まで)を放課後や土日に預かります! 育児、子育てを独自の取組みで応援します!

### 株式会社 日本政策金融公庫 熊本支店・八代支店 「女性の活躍で職場環境向上!」

ライフイベントに応じた転勤特例が認められます! 育児休業者も大切な社員。モバイル端末を貸与し、いつでも会社と繋がるようにしています。

# くまもと白熱教室

## 『働くこと』『仕事をする』を考えてみよう

主催／熊本県 共催／一般社団法人大学コンソーシアム熊本、国立大学法人熊本大学  
講師／萩原 なつ子さん（立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授）

『白熱教室』<sup>\*</sup>とは、米国の名門ハーバード大学の歴史上、履修学生の数が最高記録を更新した授業です。学生に問いを投げかけ議論を引き出していく、闊達な対話形式が特長です。今回、そのような対話形式の授業に定評のある萩原なつ子教授をお招きし、なつ子流『白熱教室』を開講。男女共同参画や社会に出て働くことについて、大学生たちと一緒に考えました。

\*ハーバード大学で政治哲学を教えるマイケル・サンデル教授の授業『Justice (正義)』では、日々の生活の中で直面する難問について、「君ならどうする?」と学生に投げかけ活発な議論を引き出します。その授業形式は教育の最高の実例と言われ、NHKで『白熱教室』の邦題で放送されています。



### 「性別」は自己決定したものではない

元気で、軽快なトークを繰り広げる萩原教授。この日は「あなたが男である根拠、女である根拠は何ですか?」という問いかけから始まり、参加者の意見を求めて、萩原教授は教室を縦横無尽に駆け回りました。「戸籍で女になっているから」「体の違い」といった参加者の意見を受け、「性別は生まれた時に、体の特徴という外面的な部分によって周りから決められます。つまり、性別は自己決定したものではありません。それによって様々な不都合が生じるのは変だと思いませんか?そういう部分から男女共同参画という考えはスタートしたのです」と萩原教授。講義の内容は自己決定することの大切さ、そして選択することの意味へと広がっていきました。



### 生き方をデザインしよう!

「選択とは、自分自身や自分の置かれた環境を、自分の力で変える能力のことです。選択するためには“自分の力で変えられる”という認識を持つことが大切になります」と萩原教授。しかし「すべてが思い通りにいくわけではない」とも。「人生は不確実性に満ちています。不確実な未来に立ち向かうのは、わくわくと同時に怖いこと。しかし、選択の自由を持たない人間は、ある詩人の言葉を借りるなら、ただの手足、道具、モノにすぎません」。そして「働く」ことを考えるとき、企業を選ぶだけでなく、「どんな会社員になりたいか、どんな仕事をやりたいか」を考えるべきだと続けます。そのうえで、「キャリアの選択肢をオープンにしておく」「幸運をつくりだすために行動する」「小さな挑戦と失敗を繰り返すことで夢と現実のギャップが見えて来る」という3点をアドバイスしてくれました。そして最後には「私は大学の先生になろうと思ってなったわけではありません。いろんな経験をして、今があります。そして、今では大学教員が天職だと思っています。これから皆さんには未知の出来事がたくさん待っていますが、自ら人生をデザインし、楽しんでもらえたらと思います」とエールも。参加者の心に届いたことを、会場に鳴り響く拍手が物語っていました。

※当日の運営は、熊本大学現代政治論ゼミ（法学部 鈴木桂樹教授）にご協力いただきました。

#### 参加学生の感想

安部 菜月さん（左）

「内容はもちろん、堅苦しくない雰囲気も良かったです。このような講演会を聞く機会をもっと増やしていきたいです」

佐藤 光さん（右）

「いろんな生き方があることを学びました。私自身、将来やりたいことがたくさんあるので、とても参考になりました」



# 女性に対する暴力をなくす運動

毎年11月12～25日の2週間は「女性に対する暴力をなくす運動」期間として、国をはじめ、全国各地で女性に対する暴力の根絶を目指す取り組みが行われています。熊本県でも講演会や各種ワークショップを開催し、DV<sup>\*1</sup>やデートDV<sup>\*2</sup>は絶対に許されないものであることを訴えました。

\*1…ドメスティック・バイオレンス。夫婦間の暴力で、身体的なものだけでなく、性的、経済的、精神的な暴力もある。  
\*2…交際中の男女間のDVのこと。

後半は、NPO法人『こころのサポートセンター・ウィズ』の進行によりワークショップを実施。グループに分かれて具体的なDV被害者の支援方法を検討し、活発な意見交換が行われました。

「このような偏った思い込みは誰にでもあることで、皆が意識して排除していくことが必要です」との言葉に考えさせられました。

この他、離婚についての基礎知識や被害者の安全確保等の解説もあり、参加した支援関係者たちは大変熱心に聴き入っていました。



## DV防止講演会

### DV被害者支援の実践～自己決定を助ける支援のあり方について～

講師／阿部 広美さん（弁護士、熊本県弁護士会両性の平等に関する委員会委員長）

これまで多くのDV被害者から相談を受け、解決へと導いてきた阿部弁護士。まずDVそのものを知ることが重要と「うう」ことで、実際の体験をもとにさまざまな事例を紹介。

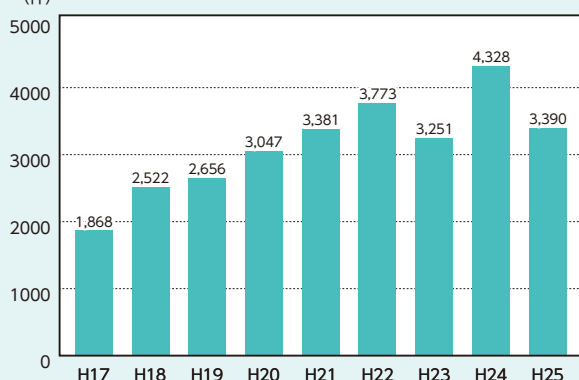
「暴力だけがDVではありません。威圧的な態度で接する、無視する、行動を監視・制約するといったモラルハラスメントは時に暴力以上の苦しみを被害者に与えます。また暴力があっても「けんか」と捉え、自分の置かれている状況がDVだと気付かない人も多いんです」

DVには、子どもの頃から知らず知らずの間に刷り込まれたジェンダーに関する固定観念も影響していて、裁判では「片づけができない・料理ができない妻」を非難し、家事育児の責任を妻だけに押し付けようとする夫の姿が見られるといいます。

## コラム DV相談件数は6年続けて3千件超

女性に対する暴力行為は依然として後を絶ちません。平成25年度の県内の主な相談窓口におけるDV相談件数の合計は、過去最高となった前年からは減少したものの、6年連続で延べ3千件を上回っています。

熊本県内の主な相談窓口におけるDV相談件数の推移  
(県男女参画・協働推進課調べ)



## 女性総合相談

主に女性が抱える様々な悩みについての相談に応じます。お気軽にお電話ください。(面接相談は予約制) また、無料法律相談(毎月第3木曜日13:00～16:00 予約制)も実施しています。

〈相談・予約専用電話番号〉096-355-2223

〈受付時間〉日曜・火曜・休館日を除く毎日

9:00～16:00 ※水曜日は20:00まで

### 【DV相談窓口のご案内】

主に配偶者やパートナーからの暴力に関する相談窓口です。

熊本県女性相談センター ☎096-381-7110 (DV専用)

熊本市DV相談専用電話 ☎096-344-3322

警察安全相談室 ☎096-383-9110

または#9110

## ① 護心術講座

主催／国際千唐流空手道連盟 輝竜館

講師／仲村竜一さん（輝竜館館長）

本講座のテーマは、「護身術」ではなく「護心術」。腕力や技で相手を撃退するのではなく、「心を強くすることで危険を回避する」方法についての仲村館長の話に参加者は熱心に耳を傾けていました。「暴力を振るわれそうになったとき、技での反撃は最後の手段。まずは逃げる、次に声を出す、そして急所を攻撃する。その順番で対応してください」と仲村館長。というのも、よほど訓練を積んだ人でなければ技で反撃することは難しいから。「だからこそ、危険な目に遭いそうな環境には近づかないことが重要になります。そのためにも、強い心を持つことが大切。嘘を見破る、注意力を養う、コミュニケーション能力を高めるなど、心理面を鍛えることで危険を回避できやすくなります」と仲村館長は強く訴えます。心と体の両面における人との間まのとり方が、身を守ることにもつながるのです。



## ② 「Noと言える」コミュニケーション

主催／ハート・ラボ・ジャパン

講師／知識ちしき 茂雄さん

人間は一人ひとり違う。そのことを実感するために、まず参加者は目を閉じて折り紙を実施。同じ指示を聞いて折ったにもかかわらず、全員が違う仕上がりになりました。「自分はこう考えるけれど、人は違いかもしれない。そう思うことでコミュニケーションはよくなる」と知識氏。そのうえで、「アサーティブ」という「コミュニケーション技法の考え方がポイントになると言います。基本的には「自分を大切にしつつ、相手も大切にする」という考え方は、「自己主張はしてもよいが、大前提として相手を尊重できていないとダメ。そのためにも事実と感情表現を区別することが重要です。事実を伝えてから感情を伝える。それから相手にしてほしいことを欲求しましょう。そうすると自己表現がスムーズになり、きちんと「No」も言えるようになります」というアドバイスに、参加者は大きくうなずいていました。



# 講話 人生を楽しく笑顔にする技術

「起業したい」「仕事でもっと自信を持ちたい」「地域活動を始めたい」など、さまざまな思いを持った人の「一歩」を応援するための連続講座を開催しました。コーチングやコミュニケーションなど多彩なプログラムには年齢・性別を問わず多様な方々が参加し、スキルアップを図るとともに互いの交流を深めることができました。プログラムの中から、宮崎県からお招きした宮田若奈さんによる講話を紹介します。

企画・運営/NPO法人チェンジライフ熊本

## 工夫がたくさん。宮田流講話

開始時間になるとチンドン屋の曲が会場に響き始めました。それから宮田さんが艶やかな衣装に身を包んで登場。「チン、ドン、チン、ドン」の楽しい音色に、参加者は思わず笑顔で拍手。宮田さんならではのコミュニケーション術で、参加者の心はすぐに開かれました。そのほか、手拍子によるアイスブレイク、宮田さんが暮らす宮崎県都市やチンドン屋にまつわるクイズを実施。参加者と一緒に歌も歌ったりと、独自の講話スタイルには「人を笑顔にする」ための工夫がいっぱいでした。



## ターニングポイントは20歳の決断

さらに、宮田流人生を楽しくするコツが、実体験をもとにひもとかれていきました。「私の人生の転機は20歳。知人から聞いた『20歳からは自分で、顔をつくれ。求めるのではなく、人に与える人間になれ』という言葉に感銘を受けました。それから、笑顔と元気を与えることが私の天命だと信じて生きていくようになったのです。だからこそ、これまでのいろんなことにチャレンジできました」と宮田さん。大阪のチンドン屋に飛び込み、宮崎県都城で『花ぶぶき一座』を旗揚げ。そのほか、司会業、イベント企画、執筆活動、ラジオのパーソナリティーなど多彩な活動を展開している宮田さんですが、すべては「人に笑顔と元気を与えたい」という思いでつながっています。

さらに、宮田流人生を楽しくするコツが、実体験をもとにひもとかれていきました。「私の人生の転機は20歳。知人から聞いた『20歳からは自分で、顔をつくれ。求めるのではなく、人に与える人間になれ』という言葉に感銘を受けました。それから、笑顔と元気を与えることが私の天命だと信じて生きていくようになったのです。だからこそ、これまでのいろんなことにチャレンジできました」と宮田さん。大阪のチンドン屋に飛び込み、宮崎県都城で『花ぶぶき一座』を旗揚げ。そのほか、司会業、イベント企画、執筆活動、ラジオのパーソナリティーなど多彩な活動を展開している宮田さんですが、すべては「人に笑顔と元気を与えたい」という思いでつながっています。



講師  
みやた わかな  
**宮田 若奈さん**

1970年生まれ。平成9年に大阪でチンドン屋と出会い、その親方に憧れてチンドンの世界へ飛び込む。平成15年に宮崎県都市でチンドン屋『花ぶぶき一座』を旗揚げ。愛知県一宮市で開催された『全国選抜チンドン祭』では、理事長賞、一宮市議会議長賞、一宮ケーブルテレビ賞などを受賞する。平成21年には宮崎県女性のチャレンジ賞を受賞。夫、長男(中学1年生)、長女(中学3年生)の4人家族。

## 目標を「信じる」ことが大事!

宮田さんは決して順風満帆な人生をおくってきたわけではありません。夫の転職による2度の引っ越し。新しい土地でゼロからスタートすることを余儀なくされました。しかし、天命を信じ続け、新天地でさらなる飛躍を遂げたのです。「目標を決めたら、必ずできる」と信じるのが大切。人は歳月を重ねて老いるのではなく、理想が衰えることで老いるのです。目標や夢、理想はどんな時も信じ続けてください!「目標に向かって生き生きと歩むことで、人生を楽しく、周りの人たちも笑顔にできる。そんな熱い想いと信念がひしひしと伝わってくる素敵な時間でした。」

宮田さんは決して決して順風満帆な人生をおくってきたわけではありません。夫の転職による2度の引っ越し。新しい土地でゼロからスタートすることを余儀なくされました。しかし、天命を信じ続け、新天地でさらなる飛躍を遂げたのです。「目標を決めたら、必ずできる」と信じるのが大切。人は歳月を重ねて老いるのではなく、理想が衰えることで老いるのです。目標や夢、理想はどんな時も信じ続けてください!「目標に向かって生き生きと歩むことで、人生を楽しく、周りの人たちも笑顔にできる。そんな熱い想いと信念がひしひしと伝わってくる素敵な時間でした。」



熊本県男女共同参画センター  
**パレア**  
くまもと県民交流館

一度アクセスしてみてください <http://www.danjoyo.pref.kumamoto.jp/> **ならんで** 🔍

発行/ 熊本県男女共同参画センター  
TEL.096-355-1187 FAX.096-355-4317  
E-mail danjocenter@pref.kumamoto.lg.jp  
URL <http://www.danjoyo.pref.kumamoto.jp/>  
〒860-8554 熊本市中央区手取本町8-9  
くまもと県民交流館パレア内 (Vol.36 平成27年3月発行)

熊本県環境生活部 県民生活局 男女参画・協働推進課  
TEL.096-333-2287 FAX.096-387-3940  
E-mail danjokyoudou@pref.kumamoto.lg.jp  
〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1

発行者:熊本県  
所属:くまもと県民交流館  
発行年度:平成26年度

この用紙は再生紙を使用しています。